

2020 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 Hope Tree

1 事業の成果

がんの患者とその子ども・家族への支援を充実させていくための事業を行った。コロナ禍により規模は縮小したものの、感染対策に気を配り一般市民対象のフォーラムも開催した。医療者対象のワークショップは会場とオンライン両方のハイブリッド開催に変更し、全国から多数の参加者を得て各地での支援の広がりにつながっている。新聞やテレビに取り上げられる機会もあり、がん患者とその子どもへの支援の大切さに対する認識が全国にも広がっている。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①医療者等に対する育成及び指導に関する事業

ア CLIMB (クライム) ファシリテーター養成講座開催

- ・ 内 容 全国から自施設で CLIMB 開催を希望する医療者を対象とした 2 日間のワークショップ。子どもの発達段階の理論を踏まえたプログラム（親のがんにまつわる気持ちを話し合いや工作を通して表出し、自分一人ではないと感じることで孤立感を軽減することを目指す）を学び、実際にグループで 6 回のセッションを経験することで、自施設でもすぐに開催できるように養成する。
本年はコロナ禍により養成講座そのものは開催できなかったが、養成講座をオンラインで開催する方法を米国の本部よりオンラインで学び、日本で教える時に必要なテキストを翻訳した。
- ・ 日時 2020 年 11 月～2021 年 2 月
- ・ 場所 オンライン
- ・ 従事者人員 1 人
- ・ 対象者 医療者等 50 人
- ・ 費用額 462,312 円

イ 子どもをもつがん患者を支える実践ワークショップ開催

- ・ 内 容 このワークショップでは、未成年の子どもを持つがん患者への具体的な支援の在り方について学ぶ。親ががん患者である子どもを支えるためには、まず親である患者の支援から始まる。患者との信頼

関係の築き方、家族全体のアセスメント、子どもの年齢や病期に応じた介入について、事例検討、アクティビティを交えながら学ぶ。本年はコロナ禍により開催できなかった。振り込んだ会場費は延期した 2021 年 5 月開催分に充てた。

- ・日時 コロナ禍により延期
- ・場所 延期
- ・従事者人員 5 人
- ・対象者 医療者等 60 人（来年度）
- ・費用額 308,440 円

ウ 子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援“バタフライ・プログラム”を学ぶ～ワークショップ開催

- ・内容 子どもを持つ終末期がん患者・家族のアセスメントとアプローチ、子どもへの介入、医療者のグリーフなどを学ぶ。
本年度はコロナ禍により開催できず。
- ・日時 コロナ禍により延期
- ・場所 延期
- ・従業者人員 5 人
- ・対象者 医療者等 50 人（来年度）
- ・費用額 0 円

エ フォローアップ研修開催

- ・内容 これまで Hope Tree ワークショップに参加された方々のスキルアップ、ネットワーク作りを目的に、日ごろの臨床現場での困り事や事例を話し合い、解決の糸口を見つける。
本年度はコロナ禍により開催できず。
- ・日時 延期
- ・場所 延期
- ・従業者人員 4 人
- ・対象者 医療者等 7 人（来年度）
- ・費用額 14,630 円（会場キャンセル費）

オ AYA ウィーク 2021 子育て世代の患者さんを支える医療者の集い

- ・内容 AYA 世代の患者の中には、子育て真っ最中の方がおり、子どもを抱えながらがん治療に臨む際、多くの悩みを経験している。その患者と子どもを支える配偶者も、特に患者の病状が進行してくると悩

みも深まる。そのような患者・家族を医療者はどのように支える
よいか、Hope Tree のスタッフと全国の医療者がオンラインで集
い、子育て世代の患者を支えるための工夫を話し合う。

- ・日時 2021年3月17日
- ・場所 オンライン
- ・従業者人員 4人
- ・対象者 医療者等10人
- ・費用額 0円

②がんの患者とその子どもの支援事業

ア CLIMB（クライム）事業開催

- ・内容 がんの親をもつ子どもとその親に対する心のケアを目的とするプログラム。子ども同士で不安や悲しみ等の気持ちに対処する方法について、工作をしながら話し合う。並行して、親同士で治療や日常生活の不安、子どもとの向き合い方について話し合う機会を提供する。
- ・日時 2020年8月、2021年3月 毎週日曜日 全4回 の予定であったがコロナ禍により開催できず
- ・場所 東京共済病院
- ・従業者人員 10人（来年度）
- ・対象者 がんの親とその配偶者10人、子ども10人（来年度）
- ・費用額 0円

イ 体験版 CLIMB（クライム）事業開催

- ・内容 がんの親をもつ子どもとその親（遺族も含む）に対し、体験版の CLIMB（クライム）を開催する。
本年度はコロナ禍により開催できず。
代わりに該当するご家族（子ども、患者、配偶者、ご遺族）にお手紙を発送した。
- ・日時 例年秋～冬
- ・場所 東京共済病院
- ・従業者人員 7人（来年度）
- ・対象者 がんの患者・配偶者（含遺族）とその子どもたち（来年度）
- ・費用額 10,873円（お便り郵送料）

③がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業

ア Hope Tree フォーラム 2020 事業開催

- ・内容 NPO 法人 Hope Tree フォーラム 2020「子どもたちの声を届けたい」会場開催 12月12日
NPO 法人 Hope Tree セミナー2020「未成年の子どもがいるがん患者を支える」ハイブリッド開催 12月13日
- ・日時 2020年12月12日(土)・13日(日)
- ・場所 御茶ノ水トライエッジカンファレンス
- ・従業者人数 12月12日13人、12月13日会場13人、オンライン60人
- ・対象者 がんの患者・配偶者/遺族、その子ども/遺児人、医療者
- ・費用額 508,254円

イ 他団体との協働事業「BlackRock Kids English Play Labo」開催

- ・内容 他団体や地域社会と協働して、がんの患者とその子どもへのリクリエーション・イベントを企画実施する。今年度もブラックロック・ジャパン株式会社と、NPO 法人キッズドアの協力の元に、がんの親をもつ子どもたちへ英語を楽しく使うイベントを開催する。その間親(がんの患者とその配偶者、含遺族)はグループワークを実施する。
コロナ禍により開催できず。
- ・日時 例年夏
- ・場所 ブラックロック・ジャパン本社
- ・従業者人員 3人
- ・対象者 がんの患者・配偶者・遺族・子ども 約20名
- ・費用額 0円

ウ ホームページの運営事業実施

- ・内容 あらゆる人を対象としたホームページの運営。患者自身が読み、治療しながら子育てするのに参考になる情報、一般社会に対する普及啓発の内容を含む。
- ・日時 必要に応じアップデート
- ・場所 オンライン
- ・従事者人員 1人
- ・対象者 不特定多数
- ・費用額 49,920円

エ パンフレット作製・印刷事業実施

- ・内容 特定非営利活動法人 Hope Tree の支援内容を紹介するため、パンフレット等を作成する。
- ・日時 適宜
- ・場所 全国
- ・従業者人員 3人
- ・対象者 不特定多数
- ・費用額 332,932円

④その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア がん教育に関する当事者の意識調査

- ・内容 小学4年生から高校生までの子どもを持つ患者及び配偶者とその子どもたちを対象に、がん教育に関する経験と意識について、アンケート調査を行った。その分析結果を、2021年6月18～19日にハイブリッドで開催される第26回日本緩和医療学会学術大会（パシフィコ横浜）にて報告する。「がん教育に関する当事者の意識調査（1）—がんを経験した親の立場から—」および「がん教育に関する当事者の意識調査（2）—がんの親をもつ子どもの立場から—」
- ・日時 2020年4月～9月に発送、回収後分析
- ・場所 回収先は放送大学小林研究室
- ・従業者人数 5人
- ・対象者 がんの患者・配偶者/遺族55人、その子ども/遺児65人
- ・費用額 24,220円